

10. 仕様

一般的名称	歯科用空気回転駆動装置
型式	M205
ホース接続方式	JIS T 5905 タイプ3 (ミッドウエスト4ホール)
ハンドピース接続方式	Eタイプ JIS T 5904
回転速度	22,000min ⁻¹ ±10% (0.25MPa時)
停止トルク	1.5N・cm以上
給気圧力	0.20 - 0.25MPa (2.0 - 2.5kgf/cm ²)
空気消費量	<66NL/min (0.25MPa時)
給水圧力	0.10 - 0.25MPa (1.0 - 2.5kgf/cm ²)
チップエア圧力	0.15 - 0.25MPa (1.5 - 2.5kgf/cm ²)
冷却水の供給	50mL/min以上 (0.20MPa時)
冷却空気の供給	1.5NL/min以上 (0.20MPa時)
注水方式	内部注水
使用環境 (温度)	0 - 40℃ (結露のないこと)
使用環境 (湿度)	30 - 75%
使用環境 (気圧)	700 - 1,060hPa
輸送・保管環境 (温度)	-10 - 50℃
輸送・保管環境 (湿度)	10 - 85%
輸送・保管環境 (気圧)	500 - 1,060hPa

11. シンボルマーク

 135℃までの温度でオートクレーブ可能

 熱水洗浄器の使用が可能

12. アフターサービス

本体には登録カード、保証書が添付されています。使用する前に登録カードを記入の上、返送してください。また保証書は、必ず「販売店印及び購入日」を確認の上、購入した販売店から受け取り、内容をよく読み、大切に保存してください。保守部品の弊社の保有期限は、製品の製造を中止してから7年です。この期間を修理可能期間とします。

13. 別売品一覧

製品名	製品番号
MG-4H マルチゲージ	Z109400

14. スペアパーツ一覧

製品名	製品番号
Oリング (青色)	D0313084070
Oリング	D0312074080

15. 製品廃棄

廃棄時の作業者の健康上のリスク、廃棄物による環境汚染のリスクを防ぐため、医療機器の感染性廃棄物は医師、または歯科医師が非感染状態であることを確認し、特別管理産業廃棄物の許可業者に運搬または処分を委託してください。不明な点は購入した販売店まで連絡してください。



取扱説明書

MADE IN JAPAN

エアモータ

S-Max M205

エスマックス M205

認証番号: 222ALBZX00009000

1. 使用者・使用目的

使用者：有資格者
使用目的：歯科領域の治療

2. 安全上の注意、危険事項の表記について

■ご使用前に必ずこの安全上の注意をよくお読みいただき、正しくお使いください。
■危険事項の説明は、製品を安全にお使いいただき、あなたや他の方への危害や損害を未然に防止するためのものです。
危害や損害の大きさと切迫の程度ごとに分類しています。いずれも安全に関する内容ですから、必ずお守りください。

注意の区分	危害や損害の大きさと切迫と程度
△警告	「重度の人身障害または物的損害が発生する可能性がある注意事項」を説明しています。
△注意	「軽度の人身障害または物的損害が発生する可能性がある注意事項」を説明しています。
お知らせ	「故障や性能低下を起さないためにお守り頂きたいこと、仕様や性能に関して知ってお頂きたいこと」を説明しています。

⚠ 注意

- 使用する前にこの取扱説明書を読み、各部の機能をよく理解してから使用を開始してください。この取扱説明書はご使用になる方がいつでも見ることのできる場所に保管してください。
- 患者の安全を第一に考え、使用には十分注意を払ってください。
- 医療機器の操作、保守点検の管理責任は、使用者側にあります。
- 取扱説明書に記載されていない改造・分解をしないでください。
- 落下等の強い衝撃を与えないでください。
- 切削時は安全、健康のため保護眼鏡、マスク等を着用してください。
- 使用中、少しでも異常を感じたら使用を中止して、販売店まで連絡してください。
- 酸化電位水（強酸性水、超酸性水）、または滅菌液で、洗浄、浸漬、拭き取りをしないでください。
- 本製品は未滅菌品です。使用前に必ず滅菌してください。
- 機器および部品は必ず定期点検を行ってください。
- 長期間使用していない機器を使用するときには、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に作動することを確認してください。
- 使用中の万一の故障等に備え、スペアのセットを用意することを推奨します。
- 本製品は、特定保守管理医療機器です。医療機器安全管理責任者を配置し、医療の安全管理のための体制を確保することが、医療法等で義務付けられています。

3. 供給圧力の設定

供給圧力を手で測定して、仕様に記載された適正圧力に設定します。（図1）
※マルチゲージは別売品一覧を参照してください。

⚠ 警告

供給圧力は仕様に記載された適正圧力を超えないようにしてください。

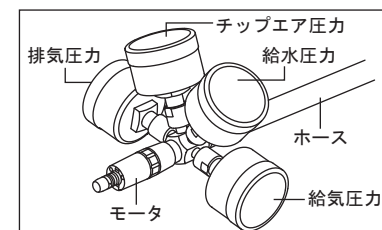


図 1

⚠ 注意

使用するエアはごみ、水、オイル等が混入しない清浄なエアを使用してください。

お客様相談窓口
☎0120-7242-56
9:00-17:00 / 土日・祝日を除く
cs@nsk-nakanishi.co.jp



ウェブサイトへ
アクセス

株式会社ナカニシ
〒322-8666 栃木県鹿沼市下日向 700
TEL: 0289-64-3380
nsk-dental.jp

4. ハンドピースの着脱

4-1 取り付け

- 1) ハンドピースをモータにまっすぐ挿し込みます。
- 2) 取り付け後はハンドピースを押し引きして接続されていることを確認します。

4-2 取り外し

- モータ前部とハンドピース後部を持ってまっすぐ引き抜きます。

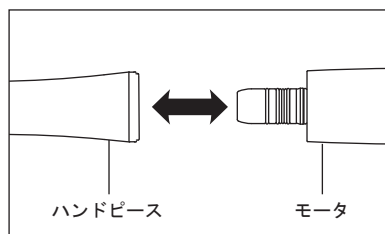


図2

⚠ 注意

ハンドピースの着脱は、モータの回転が完全に停止してから行ってください。

5. 使用前点検

ハンドピースとモータを取り付けた状態で、使用前に患者の口腔外で回転させて点検をしてください。点検時、または使用時に振動、音、発熱等の異常を感じた場合、使用を中止し、販売店まで連絡してください。

6. 回転方向の切替

- 1) 正回転させる時は、正逆切替リングをF側へ回します。(図3)
- 2) 逆回転させる時は、正逆切替リングをR側へ回します。(図4)
- 3) 回転を一時的に止めるときは、正逆切替リングをFとRの中間にします。(図5)

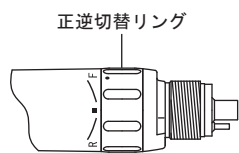


図3

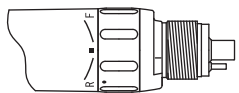


図4

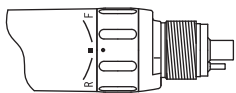


図5

7. 治療後のお手入れ

患者の治療終了毎に、次章以降のお手入れを行います。

7-1 清掃

- 1) 表面の汚れをブラシ（金属製は不可）等で払い落とします。
- 2) 消毒用アルコールを染みこませた綿等で丁寧に拭き取ります。

熱水洗浄器の使用が可能です。

熱水洗浄器を使用する場合は、熱水洗浄器の取扱説明書を確認の上、使用してください。

⚠ 注意

- ・熱水洗浄器を使用する場合は、洗浄後に十分乾燥させて、内部の水分を取り除いてから注油をしてください。水分が残った状態で注油を行うと、注油の効果が損なわれるだけでなく、内部腐食等の発生する原因となります。
- ・清掃には絶対にベンジン、シンナー等の溶剤を使用しないでください。

7-2 注油

各患者の治療後、又はオートクレーブ滅菌前に下記の通り注油を行ってください。

■パナスプレープラスによる注油

- 1) モータをホースから取り外します。
- 2) パナスプレープラスのノズル部にノズルチップを挿し込みます。(図6)
- 3) ノズルチップを図7の給気口へ挿し込み、モータを押さえて、排気部よりオイルが出るまで2~3秒スプレーします。

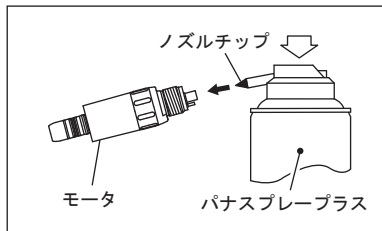


図6

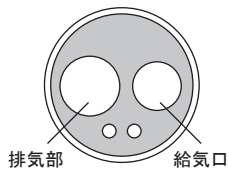


図7

⚠ 注意

- ・モータをしっかり押さえてください。スプレーの圧力によってモータが飛び出す恐れがあります。
- ・パナスプレープラスを逆さにして使用しないでください。

■タービン用オイルによる注油

- 1) モータをホースから取り外します。
- 2) 図7の給気口へタービン用オイルを1~2滴注油します。
- 3) モータをホースに取り付け、モータを約10秒間回転させます。

7-3 滅菌

本製品はオートクレーブ滅菌にて滅菌してください。患者の治療終了毎に、ハンドピースを取り外し、下記の通り滅菌を行ってください。

- 1) 滅菌バッグに入れ、封印します。
- 2) オートクレーブ滅菌を行います。下記の条件でオートクレーブ滅菌が可能です。
121℃で20分以上、132℃で15分以上、または134℃で3分以上。
- 3) 使用するまで滅菌バッグに入れたまま、清潔な状態を保てる場所に保管します。

⚠ 注意

- ・PVA（ポリビニルアルコール）等の水溶性の接着成分を含む滅菌バッグは使用しないでください。滅菌中に溶出した接着成分が製品内部に入り込み、動作不良（固着して作動しない）等の不具合を起こす場合があります。
- ・薬液の付着した器具と一緒にオートクレーブ滅菌すると、表面が変色したり、内部部品に影響を与えます。オートクレーブ滅菌器の中には薬液が入らないように注意してください。
- ・保管の際は気圧、温度、湿度、風通し、日光、埃、塩分、硫黄分を含んだ空気などにより悪影響が生じる恐れのない場所に保管してください。
- ・急加熱、急冷却するようなオートクレーブ滅菌は行わないでください。温度の急激な変化により部品が劣化します。
- ・乾燥工程で135℃以上に上昇するような場合は、乾燥工程を省いてください。
- ・本製品ではオートクレーブ滅菌以外の滅菌方法の効果は確認していません。
- ・滅菌直後は高温となっていますので触れないように注意してください。

お知らせ

EN13060に示されるクラスB滅菌器の使用を推奨します。

8. Oリングの交換

ハンドピースが着脱しづらくなったり、インサート部から水漏れ、エア漏れ、又は排気に水が混じる等の症状が現れたら、Oリングを交換して下さい。

- 1) 交換するOリングを指先でたるみをつけて取り外します。
- 2) 新しいOリングを外したOリングがはまっていた溝にはめ込みます。

※交換用Oリングはスペアパーツ一覧を参照して下さい。

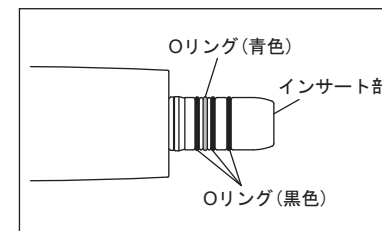


図8

⚠ 注意

- ・Oリングはサイズが異なるので、位置を間違えないように注意してください。
- ・Oリングは全部で4個ありますが、1個(青色)は太さが異なりますので、図8のように位置をまちがえないように正しく取り付けてください。

9. 定期点検

本製品の定期点検は、下記の点検表に基づき、3ヶ月毎に行ってください。点検項目に異常が見られる場合は、販売店まで連絡してください。

点検項目	点検内容
回転	モータを回転させ、振動、音、発熱等の異常がないか確認してください。